

<h1 style="font-size: 48px; margin: 0;">八 枝</h1> <p style="margin: 5px 0;">学力特集号</p>	<p>北九州市立八枝小学校</p> <p>文責 津島 大輔</p>	<p><b>【学校教育目標】</b>                  思いやりの心を持ち、自ら学び考える、                  心身ともに健康な児童の育成</p>
--	-----------------------------------	---

## 平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

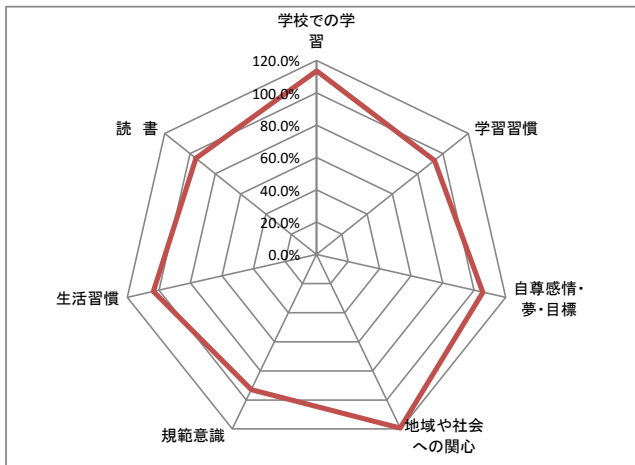
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国・県・市の平均を上回っている。</li> <li>○ 下位層が少なく、中間層が多くなっている。</li> <li>○ 「自分の意図に合った適切な質問を選択する」問題の正答率が高くなっている。</li> <li>● 「条件に合わせて文章を書く」問題に課題がある。</li> </ul>	上回っている
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市の平均を上回っているが、全国・県の平均は若干下回っている。</li> <li>○ 下位層が少なく、中間層が多くなっている。</li> <li>○ 「指定された3つの言葉を用いて、割り算の計算の仕方を説明する」問題の正答率が高くなっている。</li> <li>● 「グラフからわかることを選択し、選択したわけを説明する」問題に課題がある。</li> </ul>	下回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



**質問紙調査の結果分析**

- ・「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。」の項目で肯定的回答が多く、目的意識と意欲をもって学習する習慣がしっかりと身に付いていると考えられる。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」の項目で肯定的回答が多いことから、北九州市への関心が高く、シビックプライドの醸成が進んできていると考えられる。
- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の肯定的回答率は高いが、「学校の授業以外に、普段(月～金)1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。」の項目で「1時間以上」という回答率が低い。家庭での学習習慣の質と量についての意識を高める必要がある。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・『設定された条件』や『グラフ・資料』を基にして説明をする」問題に課題がある。日々の授業内で説明をする場を設けるなどの授業改善を行いながら、意識的に課題の解決に向けた授業づくりに取り組む。
- ・どの教科でも話し合い活動を位置付けることを全職員が共通理解し、主体的で対話的な授業展開ができるよう工夫していく。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭で自分で計画を立てて勉強をができて一方、1日あたりの時間は1時間を下回っている児童が多い。家庭学習の質と量双方の向上を目指し、「家庭学習チャレンジハンドブック」等を活用しながら、「家庭学習チャレンジ期間」だけでなく、保護者とも連携を図ることで日々の家庭学習への意識を高める。